



熱気球の体験浮上

気球を地上にあるアンカーにつなぎ、上昇、下降させる体験浮上や、熱気球でしかできない空中停止を体感してください。

●無料体験浮上 200人 7:00～9:00
(当日受付 7:00～7:30 40人)

パラグライダー ハンググライダーの体験飛行

約3メートルの高さで50メートル飛行する体験飛行や、ウィンチで曳航されて約200メートルの高さまで上昇するデモ飛行も見られます。

●無料体験飛行

①パラグライダー 30人 11:00～14:00
②ハンググライダー 50人 11:00～14:00
(当日受付 11:00～12:00 ①6人 ②10人)



他の催し物

ウルトラ・ライト機の展示とデモ飛行、組立模型飛行機などの配布もあります。また、お子様には『しゅもんドラえもんクイズ大会』にも参加いただけます。



空を楽しむ！ 埼玉スカイ・スポーツ・フェスタ2014

と き 10月12日(日) 7:00～16:00
ところ 妻沼グライダー滑空場(利根川河川敷)
※雨天・強風中止



飛行回数と滑空時間が共に日本一を誇る妻沼グライダー滑空場を舞台に、グライダー体験搭乗、パラグライダー・ハンググライダーの体験飛行、熱気球の体験浮上など子どもから大人まで楽しめるイベントを開催します。ご家族の皆さんでご来場ください。

◆妻沼行政センター産業建設課 ☎048-588-1321

◆開催可否情報(当日のみ) ☎048-588-0697

グライダーの展示・体験搭乗

関東の大学の所有機を一堂に集めて展示します。展示機のコックピットに座って操縦席を体験、記念写真を撮影できます。また、高性能複座グライダーで大空のフライトも体験できます。

●無料体験搭乗 30人 10:30～15:00
(当日受付 10:30～11:00 8人)

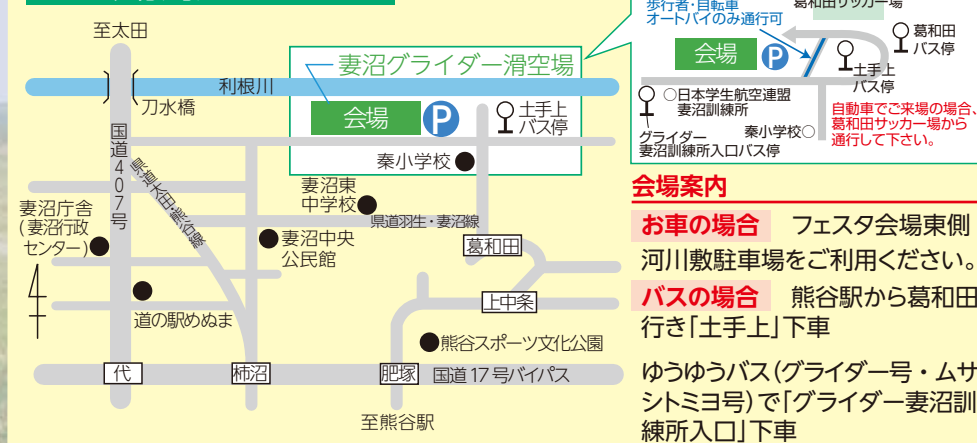


模型飛行機の製作体験

各種模型の展示や、ゴム動力を使った小型の模型飛行機キットを作成した後、飛ばして楽しむことができます。また、ラジコングライダーの操縦体験や、ラジコン機の優雅なフライトも見学できます。

●無料製作体験 50人 11:00・13:00各25人
(当日受付なし)

会場周辺マップ



注意事項

各種体験搭乗等は**事前の申込み**が必要です。(当日受付枠もあります。)詳しくは、下記ホームページへ。
<http://www.jsal.or.jp/ssf2014/>

イベント・体験搭乗等の
問合せ先

スカイ・スポーツ・フェスタ実行委員会
Eメール ssf2014@jsal.or.jp
☎050-3746-2379
(10:00～18:00)
FAX 03-6206-1357

会場案内
お車の場合 フェスタ会場東側河川敷駐車場をご利用ください。
バスの場合 熊谷駅から葛和田行き「土手上」下車

ゆうゆうバス(グライダー号・ムサシトミヨ号)で「グライダー妻沼訓練所入口」下車

※このイベントの開催により、今年度の「熊谷めぬまグライダーフェスタ」(毎年3月上旬)の開催はございません。

フォトニュース



学生トップ選手が集う

9月5日～7日、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で第83回日本学生陸上競技対校選手権大会が開催されました。全国から集まった選手は、仲間のあつい応援を受けながら記録更新を目指しました。



自然とのふれあい

8月17日、別府沼公園で自然観察会が行われました。別府沼公園とその周辺に残る緑豊かな自然の中で、希少植物、昆虫や鳥などが観察できました。



壮絶な過去の経験を語る

9月3日、大宮アルディージャに所属していた塚本泰史さんによる講演会が熊谷西小学校で行われました。講演会では、骨肉腫から再び走れるまでに回復した経験を語り、児童達の胸に響いたことでしょう。



平和への祈りを込めて

熊谷空襲により亡くなられた多くの方々のめい福を祈り、8月16日、星川でとうろう流しが行われました。



神聖な炎の舞

8月27日、大我井神社(富士浅間神社)で火祭りが行われました。大迫力の火柱と花火が夏の夜空を彩りました。



熊谷をさらにあつく盛り上げます！

9月8日、プロ野球元オリックスのパンチ佐藤さんが武蔵ヒートベアーズの宣伝本部長に就任し、市長を表敬訪問しました。佐藤さんは、球団の今後の活動をあつくPRしました。



本格的なラグビーシーズンの到来！

9月6日、熊谷ラグビー場で第94回全国高校ラグビー埼玉県大会開会式が行われました。また、今シーズンのラグビー公式戦ボスター入選者の表彰式も同時に開催されました。



輝かしい成果を市長へ報告！

8月20日、埼玉県決勝大会で準優勝し、関東大会への出場権を獲得した熊谷リリース少女サッカークラブが、また、8月29日には第49回高野山競書大会で、最高賞である弘法大師賞を受賞した太田小学校の井上英司くんが、それぞれ市長を表敬訪問しました。



暑いまち熊谷の新たな街づくり

8月27日、ミサワホーム株式会社による「エムスマートシティ熊谷」街びらきセレモニーが別府5丁目で行われました。日本有数の暑いまち熊谷ならではの街づくりが公開されました。



約700人が訓練参加

8月30日、熊谷荒川緑地自由広場で熊谷市総合防災訓練が行われました。57の機関、企業および団体が参加し、災害に備える意識や行動の強化、防災意識の高揚を図りました。

おたよりパレット

テーマ

私の好きな市内のイベント

やはり「うちわ祭」と「熊谷花火大会」は圧倒的な知名度と人気を誇っているようです。日々、秋は深まりますが、まだまだ色々なイベントが行われていますので、ぜひ足を運んでみてくださいね。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/> でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ8月号で寄せられたご意見を紹介します。

- やはり「花火大会」が一番です。毎年サマーベッドを持っていき、ビールを飲みながらの花火鑑賞。最高のひと時です。(60代・女性)
- 毎年「うちわ祭」の日には、親戚の人たちが泊まりがけで来て、昼から夜遅くまで飲んで食っての宴会で大騒ぎをしています。親戚の人たちもうちわ祭が来るのを楽しみにしています。(70代・男性)
- 「雪くま」のシーズンが好きです。喫茶店、飲食店ごとに独自のかき氷が食べられるので、暑い熊谷の夏を、とても涼しく過ごすことができます。他県に住む友人にも自慢できるポイントです。(20代・女性)
- 「全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会」を見に行くことが好きです。西の花園、東の熊谷として全国的に定着した大会だからです。(50代・男性)

今月のテーマ、「2014年中に済ませておきたいこと」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「2014年中に済ませておきたいこと」のコメントを必ず記入し、10月23日(木)までにご応募ください(一人につき一通)。
《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☐ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※なお、市内の商店・企業を知っていたらという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

8月号の正解

①1万 ②オ・ドーレなおさね
◆応募総数37通中、正解36通

今月の問題

次の□に入ることばを、それぞれお答えください。
① 埼玉スカイ・スポーツ・フェスタ2014は、10月12日(日)に□(利根川河川敷)で行われます。
② 10月は□を受ける強化月間です。年に一度は受診しましょう。

今月のプレゼント

中華食堂「睡蓮」ご提供の坦々麺を、正解者の中から抽選で20人に提供します。
所在地：熊谷市銀座3-56-1
Ksタワー 101
電話：048-577-3773

読んで当てよう 市報 クイズ



夢追人

「地域に根ざしたサポートを」

国際協力NGO職員

金子 由佳さん(河原町)



熊谷から、ガザ地区へ

生まれも育ちも熊谷の私が、NGO職員として海外で働くようになったきっかけは、高校時代のフイリピン滞在でした。現地の人が本当に必要とする支援とは何かを考える中で国際協力に興味を持ち、大学院では平和学を学びました。在学中、パレスチナに滞在する機会があり、「この場所での紛争がなくならないと、世界中の紛争が解決しない」と強く感じ、卒業後にJVC(※)パレスチナ事業・ガザ地区での活動を希望しました。

現地での活動

封鎖の厳しいガザでは、子どもの栄養失調が慢性化しています。私は約2年に渡り、限られた食材でも栄養価の高い食事を摂れるようにする調理実習や、各家庭訪問を通じて栄養・育児カウンセリングを行ってきました。また、地域の女性30人をボランティア栄養士として育成し、地域ぐるみで子どもの栄養失調を予防できる仕組み作りを目指してきました。昨年の活動を通じて栄養状態の改善が明らかになっています。

「辛さ」と「やりがい」

便利で平和な21世紀に、これほど凄惨なことが起きてよいはずがないと思うほど、過酷な日常の中を彼らは生きています。何年も積み上げた成果が、空爆により一瞬で破壊されることは本当に辛いし、現地の仲間が殺されるかもしれない恐怖は常にあります。一方、人々の笑顔や、元気になった子どもの様子を嬉しそうに話す母親の姿を見ると、活動の意義を感じます。今後は現地に帰り活動を再開する予定です。「ガザは世界から忘れられていない」と示



現地で活動する金子さん(左)

ガザ地区と日本を結ぶ

ガザ地区の子ども達が東日本大震災の犠牲者を追悼し、毎年3月11日に風揚げをしていることをご存知でしょうか？彼らは私たちの想像以上に、日本という国への親近感を持ち、被災者に対する連帯の気持ちを表してくれています。

どうか遠い国の出来事と思わないでください。私ひとり出来ることは限られていますが、離れた距離を結ぶパイプ役となつて現地の声をできる限り伝えたいと思います。日本滞在中であれば、いつでもどこでも講演等にごへますので、声をかけていただければ嬉しいです。

(取材日：平成26年7月23日)

※国際協力NGO 日本国際ボランティアセンター(JVC) ホームページ <http://www.ngo-jvc.net/>

来て!見て!知って!文化財

長島記念館 一心に響く美と空間—

小八林1022 ☎0493-39-2025

大里地域の小八林に立地する長島記念館は、埼玉銀行頭取・会長として埼玉県経済界の発展に貢献した故長島恭助氏の生家であり、平成6年、長島記念財団により記念館として整備されました。

記念館の敷地面積は1,800坪と広く、石積みの蔵と白壁の長屋門が敷地の前面に位置し、中央には江戸時代に建造された母屋が残されており、敷地内の北側には雑木林があります。庭園には枯山水様式が用いられ、石灯笼や植栽の配置が心を和ませてくれます。母屋には、レトロな生活用品などが展示され、その当時の暮らしに思いを馳せることができます。

正門右側と奥側に位置する蔵は大正9年に建造され、その外面は旧帝国ホテルの表玄関と同質の大谷石で造られています。奥の蔵は、倉庫としてだけでなく、客間として使用され、多くの

財界人がこの部屋を訪れたと言われています。現在、蔵は展示室としてリニューアルされ、長島氏が生前収集した、日本美術史を代表する作家達の作品が展示されています。

日本画では、川合玉堂や横山大観、小林古径など著名画家による作品が展示され、近代に継承された穏やかな和の美を感じることができます。洋画では、森田恒友らと春陽会を設立し、秀逸な文筆家としても知られる中川一政の名作や、ポスト印象派の影響を受けながら独自のスタイルを開拓した梅原龍三郎の人物画などが収蔵されています。その他、渋沢栄一の書や、名刀「月山」などの貴重な名品もあり、美のエネルギーが心に響きます。

◆江南文化財センター ☎048-536-5062



人口と世帯

平成26年9月1日現在(対前月比)

■人口 201,832人(-68) 男 100,651人(-47) 女 101,181人(-21) ■世帯 83,443(+39)

「市報くまがや」10月号は、72,400部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり15円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。